

コウノトリ（コウノトリ科） 全長１１２センチ

２月１７日、秋田市新屋にコウノトリが飛来したと県内新聞で報道された。

数日後に現地に向かい、新屋豊岩のここぞと思われる場所を探し回ったが、簡単には見つかりません。１時間半が過ぎてしまった。もう帰ろうかと雄物川堤防に向ったところ、県道と住宅街に挟まれた田んぼの中にポツンと立つコウノトリが見つかった。な～んだ此処にいたのか。

私の予想した静かな山際とは正反対の、車や人が通る比較的賑やかな場所です。この日は強風で、時々吹雪となるなど寒々とした天気となった。コウノトリはじっとしたまま動く様子はなく、クチバシを胸の羽の中に刺し込んでいる。



足環の色から 2019 年 6 月に巣立ったオスと分かった。

コウノトリから 100m ほど離れた車の中からの撮影です

暫くすると一人のカメラマンが現れ、田んぼの中を歩きながら 20m 位まで接近中。危険を感じたであろうコウノトリは、直ぐに飛び上がってしまった。

しかし遠くに飛び去ることなく、100m ほど離れた場所に降りてくれました。カメラマンは諦めたのか、その場から立ち去った。



クチバシを胸の羽に刺し込み、寒さをしのいでいるようだ。



両脚には足環が付いていたが、背中に発信機はありません。

放鳥されたコウノトリが県内に飛来したのは、2017年8月仙北市、2018年4月大仙市に続き、今回で3回目となります。仙北市に飛来したのは、千葉県野田市で放鳥された若い鳥。大仙市へ飛来したのは福井県越前市で放鳥、秋田市へ来たのは京都府京丹後市で放鳥されたものです。

国の特別天然記念物に指定されるコウノトリ。将来も定期的に訪れてもらいたいものです。



歩きながらクチバシを土に刺し込んだ。



カメラマンに驚き飛び去った。